

## 住友電工グループビームラインの概要

山口浩司、斎藤吉広、飯原順次、上村重明

住友電気工業株式会社

(背景と目的) 当社は、大型放射光施設 SPring-8 をはじめとする国内外の放射光施設において、半導体/合成ダイヤ/高温超電導材など各種材料の基礎検討、デバイス/鋼線/切削工具/二次電池などの製品開発、更には、希少金属リサイクル技術の実用化など、広範囲な分野で放射光を活用してきた。今後の革新的な製品の創出には、原子レベルの評価技術がますます重要であり、放射光を用いた原子分子レベルの分析技術の利用は拡大すると考えられる。このため、佐賀 LS にビームライン (BL) を建設することとした。

(ビームラインの概要) 当社グループの製品は、有機材料/金属無機材料/半導体材料と多岐にわたっている。このため、軟 X 線用 BL と硬 X 線用 BL の 2 本を建設する。

ビームライン	利用エネルギー*	光子数*	整備する測定手法
硬 X 線 BL (BL16)	1.7 keV ～35 keV	$10^{10}$ photons/sec @15 keV	X 線吸収分光分析 X 線回折/散乱測定
軟 X 線 BL (BL17)	50 eV ～2000 eV	$10^9$ photons/sec @1000 eV	X 線吸収分光分析 光電子分光分析

\* : 今後の設計/コミッショニングにより変わる可能性有

(現状と今後の計画)

2015 年 2 月より設置工事を開始し、現在はウィグラと輸送部機器の設置・調整を行なっている。10 月よりコミッショニングに入り、2016 年度に稼働させる計画である。

# 住友電工グループビームラインの概要

住友電気工業株式会社 山口浩司、斎藤吉広、飯原順次、上村重明

## 概要

当社は、大型放射光施設SPring-8をはじめとする国内外の放射光施設において、半導体/合成ダイヤ/高温超電導材など各種材料の基礎検討、デバイス/鋼線/切削工具/二次電池などの製品開発、更には、希少金属リサイクル技術の実用化など、広範囲な分野で放射光を活用してきた。

今後の革新的な製品の創出には、原子レベルの評価技術がますます重要であり、放射光を用いた原子分子レベルの分析技術の利用は拡大すると考えられる。このため、佐賀LSにビームラインを建設することとした。

◆住友電工

1/8

©2015 Sumitomo Electric Industries, Ltd. All Rights Reserved.

SUMITOMO  
ELECTRIC  
GROUP

## ビームライン建設の目的

### 目的

- 材料・プロセス開発の基礎検討  
半導体/ダイヤモンド/超電導線材……
- 製品設計・製造条件の最適化  
デバイス/線材/工具/電池/リサイクル……
- 対象元素：Li～Bi・非破壊/その場評価
- 広範囲のエネルギー領域が必須
- 放射光分析を日常的に活用できる環境を整備  
=必要な時に必要なだけ使える
- 早期立ち上げ・安定した運営
- 技術/装置の絞り込み

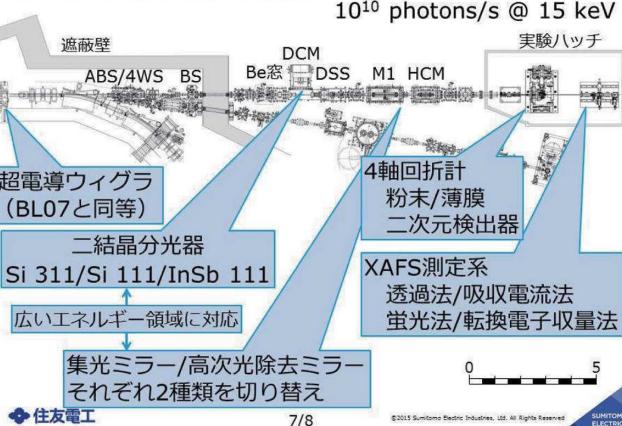
◆住友電工

5/8

©2015 Sumitomo Electric Industries, Ltd. All Rights Reserved.

SUMITOMO  
ELECTRIC  
GROUP

## 硬X線BL (BL16) の概要



◆住友電工

7/8

©2015 Sumitomo Electric Industries, Ltd. All Rights Reserved.

SUMITOMO  
ELECTRIC  
GROUP